

吉島福祉だより

発行 吉島学区社会福祉協議会
 発行責任者 会長 平本 祐二
 発行年月日 令和5年(2023年)10月吉日

第33回吉島学区納涼祭



7月15日 備品の点検



8月4日(納涼祭前日) やぐらの組み立て開始



8月4日 前日の準備完了したのは夜遅くなる



8月5日(納涼祭当日) 花火の準備は着々と進む



おいしいと評判の「焼きそば」作る人はとにかく暑い!!



かき氷は売れ行き上々



何個買おうかな? 売店は楽しみだ



子ども達もついて踊る



女性会の皆さん、揃いの浴衣であでやかに

第33回吉島学区納涼祭実行委員長 梅田 哲司



コロナ感染予防にて、3年間に渡り納涼祭が中止になりましたが、4年振りに開催でき皆さんと楽しんだことを大変うれしく思いました。

久しぶりの開催で来場者が来てくれるか少し不安でしたが例年より大勢の来場が有り安心しました。

例年のことですが女性会、子ども会の皆さんの売店も開かれ、食べて飲んで納涼祭を楽しんでいただきました。

又、花火も打ち上げられ子ども達、大人達も大きな歓声をあげていましたね。

クジ引きもあり、景品を当てた人達の喜びが伝わってきました。納涼祭の開催において、実行委員会他たくさんの皆さんお力添えで盛大に行われたことに感謝し、お礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

吉島学区社会福祉協議会 会長 平本 祐二



吉島地区納涼祭は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、令和2年度から4年度は中止。今年度は4年ぶりに8月5日(土)に多くの来賓のご列席を頂き、又沢山の人の参加頂き、盛大に開催することが出来ました。

3年間のブランク、過去の資料を参考に推進委員を中心に関係者と協議の上今年度の納涼祭は実行されました。毎年の事ではありますが特に今年の厳しい暑さの中での前日、当日の準備とお手伝いをして頂いた皆様、売店を運営して頂いた女性会、子ども会の皆様、会場内外の警備を担当して頂いた交通安全推進隊・体協の皆様、花火の打上げに係わって頂いた皆様、太鼓を叩いて頂いた皆様、そして夜遅くまで会場の片付けにご協力頂いた皆様に対し感謝申し上げます。

女性会中心の踊りの輪の中に今年は子ども達の姿を沢山見ることが出来、感動しました。吉島小学校校長・教頭先生のご協力、ありがとうございました。子ども達が成長していくうえでの良き思い出になれば幸いです。

ご協力頂いた関係者の皆様、ご来場頂きました多くの皆様方に心から感謝申し上げますと共に、今後のご活躍とご健勝を心から祈念し、挨拶とさせていただきます。

令和5年度 敬老会&カラオケ発表会

吉島学区老人クラブ連合会



吉島小2年生の子ども達が歌とダンスを披露してくれた



「ありがとう」とお礼を言われ笑顔でピースサイン



神楽「えびすと喜び」
余興ではおめでたい神楽で皆さんに幸せを運ぶ



南朋寿会 踊り「令和音頭」



和楽会 健康体操
「おもちゃのチャチャチャ」



光令会 ダンス
「浪速節だよ人生は」



朋寿会 カーブ応援歌



長寿会 合唱
「野菊・埴生の宿」

敬老会&カラオケ発表会 喜び一杯に開催



吉島学区老人クラブ連合会 会長 向田 一馬

吉島学区老連の敬老会&カラオケ発表会を4年ぶりに通常通り開催することが出来ました。

学区老連の中で一番多くの会員が集う行事で、今年も130人近い会員が集まりました。吉島小学校2年生全員51名によるオープニングセレモニーで始まりました。

敬老会の余興も謡曲あり、舞踊あり、最後は神楽の恵比寿と喜びを釣り竿と鯛釣りで舞って頂き、3者3様のおめでたい演目に拍手喝采の盛り上がりでした。

第2部のカラオケ発表会も26名が日頃の練習の成果を発揮して歌い上げました。中には歌手顔負けの衣装を身につけた人もあり、笑い拍手と歌に酔いしれてあっという間の4時間でした。

間に趣向をこらした6つの老人会の合唱、ダンス、踊り、替え歌等もすばらしかったです。

最後に、来た時よりも美しく、を合言葉に会場を片付けて全員笑顔で解散して行きました。皆さん御苦労様でした。

カラオケ発表会では、26名の皆さんが日頃の練習の成果をステージの上で思う存分発揮された。全員の晴れ姿をお見せできないのが残念。



久しぶりに顔が揃い、
テーブルを囲んで歓談を楽しむ

～*～ 新任のごあいさつ ～*～



令和5年度より吉島小学校PTA会長を務めさせて頂いております高田と申します。地域の皆様には、日頃より登下校の見守り活動等子どもたちの安全確保に向け多大なるご尽力を頂き、心より感謝申し上げます。私も地域の皆様やPTAと力を合わせ、子どもたちが安心して学校生活を送れるよう、その職責を果たしていく所存です。至らない点が多いと思っておりますので、引き続き皆様のお力添えを賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

吉島小学校 PTA会長 高田利次

おじゃまします

怖い戦争と原爆

#10



今回は、吉島西1丁目にお住まいの松島喜久子さん（97歳）をお訪ねしました。

「今日はいろいろお話を聞かせてください。」「ありゃあ何を話したらええんかいね?」と、いささか緊張されたご様子に、同居されている娘さん（奥崎さん）が「雑談じゃけえ、大丈夫よ。」と言われいっぺんに和やかな雰囲気になりました。

松島さんは6人兄弟の上から3番目。庄原駅前で家業（田原木材）を手伝っていた。原爆が投下されたときには広島の方の空が真っ黒だった。やがて庄原駅には被爆された人達でいっぱいになり、その人たちは次々とトラックに乗せられていた。生きたまま焼かれるらしいなどと、子ども心に恐怖心をあおられ、不安が広がっていくばかりだった。

一週間が経過したころ、19歳の私はすぐ上の姉「八重子さん」を捜すため広島に向かった。

八重子さんは、比治山で被爆後廿日市に戻っていた。松島さんは、尾長から廿日市まで歩き続けた。途中の福屋前には人が通れるくらいの道幅の横に骸骨が並んでいた。その情景は思い出したくない。

ヤケドを負った八重子さんを連れて廿日市駅から芸備線で庄原駅まで帰ることになる。座席の間にボロ毛布を敷いて寝かせた。家には帰って来けれど、半身ヤケドは重症でしかも顔のヤケドがひどかった。家中の鏡は全部片付けた。しかし夜になって窓ガラスに映る顔を見た時、八重子さんは何を思っただろうか…なんと残酷なことだろうか…

奥崎さんの記憶の中では、八重子さんの鼻の辺りが象のようにしわしわになっていた印象があったそうだ。また当時「リンゴを食べたらヤケドが治る」という話を聞いて、暑い中をリンゴを探し歩いたという。他にも怖かったのは、突然に進駐軍が土足で入り込んできて家の中を探し回ったそうだ。何を探したかはわからない。女の子は髪を切れ、坊主になれ、と言われた。戦争とは本当に恐ろしい。あれから八重子さんは、たくさんの障害を乗り越えて10年前に92歳で亡くなるまで生涯を全うされた。それまで原爆の話はほとんどされなかったそうだ。

最後に松島さんが私たちに伝えたいことはありますか？とおたずねすると、「原爆のことは忘れない」と答えられました。



2023年6月松島さんと娘さん

吉島の悩みごと相談所

活動拠点支援事業とは???

困ったなあ

誰に相談したらいい?

どこに相談に行けばいい?

そうだ!!
活動拠点支援事業に(吉島集会所)行ってみよう

★地域の拠点・窓口強化をすることで、住民同士のつながりや主体的な活動を促し、様々な課題を解決できる「まちづくり」を目指すことが目標です。

相談日 毎週月～金曜日

10:00～12:00

ただし(土)(日)(祝)はお休みです

場所 吉島集会所 (中区吉島西3丁目2-10)
(吉島公民館1階)



私たちが相談に応じます。
秘密厳守、公的機関に取次ぎします。

相談以外の雑談でもOK!!お気軽にお立ち寄りください。

Ś Ú B • T Ó P Í X



3月4日 第13回よしじまキッズかもめマラソン

4年ぶりの開催。ボランティアで吉島中学校の生徒さんも協力。参加した60名の小学生は、本川沿いを力走しました。写真はウォーミングアップ風景。



7月12日 吉島学区老人クラブ連合会ペタンク大会

試合になると皆さん真剣勝負。ジャッジする方も真剣です。



5月28日 3学区（吉島、吉島東、中島）親善グラウンドゴルフ大会 100回記念大会

中島学区の梅野さんが功労賞を受賞されました。



9月1日 吉島サロン・百歳体操

「百歳体操」の人気は衰えず。しかし、今年の暑さに参加者はやや減少???



9月11日 子育て支援しゅーポップ

3ヶ月に一度お誕生日会を開いて、みんなでお祝いをします。

子育て中のママ・パパのおしゃべりの場にもなっています。



7月30日 毎年「クリーン太田川」の清掃活動に合わせて吉島学区内の清掃を実施。

「猛暑にもかかわらず、たくさんの参加をいただきありがとうございます」と公衛協・渋下会長のあいさつ。



7月26日 ひまわり会定例会にて

持ち寄ったタオルで雑巾を縫う。

9月4日 手縫い雑巾約100枚を吉島小に寄贈する。

中尾校長先生から「助かります。いつもありがとうございます」



8月25日 夏休み中のラジオ体操、頑張りました。

編集後記

このたび、初めて編集作業に参加させていただきました。

町内の話題についての情報収集、取材、写真撮影、記事の作成、紙面の構成やレイアウトなど、膨大な作業があり、大変な苦勞のもとに作成されていることに驚かされました。

一人でも多くの人に目を通していただきたいと思います。

高野清志

写真協力 藤崎 章さん

